

B U S I N E S S R E P O R T 2 0 1 2

2011.4.1 — 2012.3.31



メルコグループ

成長へのたゆまぬ挑戦がメルコグループの原動力

スマートフォンが牽引するデジタル家電周辺機器市場を成長事業に

私たちメルコグループは、株式会社バッファローを中核としたデジタル家電とパソコン周辺機器の総合メーカーです。

当期の日本経済は、東日本大震災及び原発事故による甚大な被害から徐々に復興が進み、国内景気は緩やかながら持ち直しの動きがみられました。しかしながら、欧州債務危機、円高の進行、タイ国の洪水被害等、日本経済を取り巻く外部環境は、依然として厳しいままで推移しました。

メルコグループに関係するデジタル家電業界は、スマートフォンやタブレット端末の急速な普及により、その周辺機器市場は拡大したものの、地デジ化移行（2011年7月）特需の反動によりテレビ関連市場は期の後半に急速に縮小しました。また、パソコン関連業界は、10月に発生したタイ国洪水の影響により電子部品の供給不足が生じたことで関連製品の価格が急上昇し需要が減退する一方、ネットワーク関連製品を中心に価格競争が激化し厳しい状況が続きました。

このような状況の下、メルコグループは、当期を「グローバル元年」と位置づけ、海外事業の強化に注力するとともに、引き続き国内市場での販売拡大とシェア確保に努めました。しかし、主力事業の一つであるストレージ事業が主要部品の調達難により売上が落とし、ネットワーク事業においても価格競争激化により売上が伸び悩みました。さらに、成長市場であるデジタル家電周辺機器市場への新製品投入遅延が重なり、売上高は前年同期を下回る結果となりました。利益面では、競争激化によるネットワーク製品の単価下落が響き、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前年を大きく下回る結果となりました。

これらにより、当連結会計年度の売上高は1,173億19百万円（前年同期比5.2%減）、営業利益65億53百万円（同39.0%減）、経常利益71億32百万円（同34.9%減）、当期純利益44億45百万円（同29.2%減）となりました。



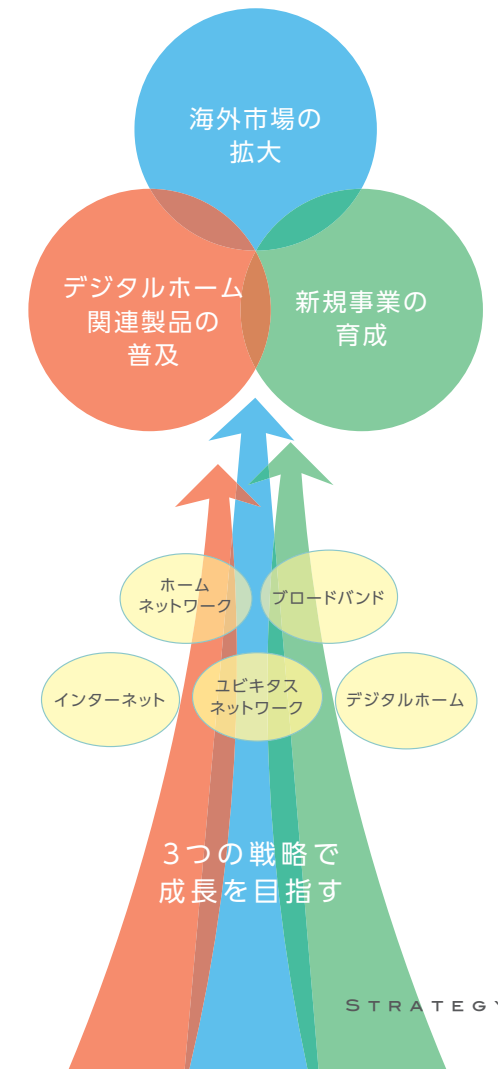
株式会社メルコホールディングス
代表取締役社長 牧 誠

グローバルな事業展開に向け、一層の注力

次期の日本経済は、東日本大震災からの復興、タイ国洪水影響の復旧など好材料は見られるものの、電力の供給不安、不安定な為替動向などにより企業や消費者に先行き不安が広がり、設備投資や消費の抑制につながりかねない状況が続くものと思われます。また、欧州の債務危機の再燃も懸念される等、メルコグループを取り巻く環境は引続き予断を許さぬ状況が予測されます。しかし、一方で薄型テレビをはじめとするデジタル家電は家庭に浸透しつつあり、スマートフォンも本格的な普及段階に入り、関連するデジタル家電の周辺機器市場の伸長が期待できます。

メルコグループは、パソコン周辺機器、インターネット周辺機器メーカーとしての堅固な足がかりを基に、人々の豊かなデジタルライフを実現する多彩な製品やソリューションを積極的に展開し、デジタル家電の周辺機器市場の成長促進を図り、総合周辺機器メーカーへと事業領域を拡大してまいります。また更なる成長を実現するため、2012年4月に抜本的な機構改革を行い、開発体制・販売体制の強化に取り組めます。

また、海外事業につきましては、中南米への海外進出を加速させるため、期末にブラジルのサンパウロ市に「BUFFALO TECH DO BRASIL LTDA」を設立しました。このように急成長中の新興国での販路拡大にも積極的に取り組む等、メルコグループの最重要課題である海外事業の拡大を一層強化していきます。これらにより売上高1,380億円（前年同期比17.6%増）、営業利益80億円（同22.1%増）、経常利益86億円（同20.6%増）、当期純利益54億円（同21.5%増）を見込んでおります。このようにメルコグループは新たな事業に果敢に取組み、変化を武器に挑戦を続けることで成長してまいります。



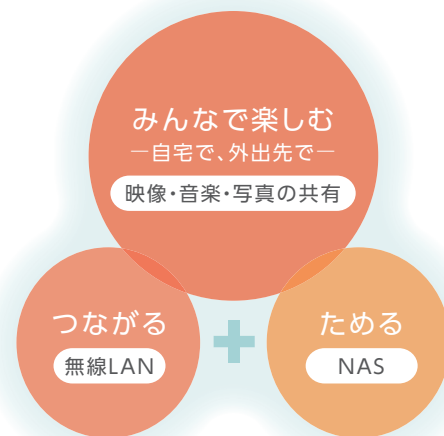
デジタルライフ、もっと快適に

デジタルホームの拡大が新たな市場を創造する

スマートフォンやタブレット端末の急速な普及はデジタルホームの活用をますます広げています。たとえば、スマートフォンから外出先で自宅のネットワークハードディスクに保存したデータ（写真・音楽・映像など）をプライベートクラウドストレージとして自在に扱うことができます。また、モバイルWi-Fiルータの使用により、外出先でもタブレット端末などの無線LAN対応機器をインターネットに接続できるようになります。デジタルホームの活用はもう家庭内だけでなく、あらゆる場所に広がろうとしています。

地上デジタルテレビにおいても、外付ハードディスク録画対応モデルが増加し、録画時間を外付ハードディスクの追加で手軽に拡張することが一般化しています。また、全番組自動録画に対応したTVレコーダーの登場により、予約することなく、好きな番組を好きな時間に観るといった新しい視聴スタイルも生まれています。

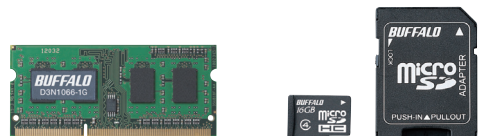
このようにデジタル家電、ホームネットワーク、周辺機器が融合したデジタルホームは、今後さらに拡大し、もっと多彩で快適な生活環境を生み出していきます。



ホームネットワークにテレビやゲーム機、タブレット端末、パソコンが接続され、インターネットや映像、写真、録画番組が自由に楽しめる！
さらに外出先からもスマートフォンで楽しめる！



メモリ製品



メモリモジュール

microSDカード



USBメモリ

●メモリ製品

メモリモジュールは、パソコンの記憶容量を増加させる製品です。パソコンの記憶容量を増やすと、一度に扱えるプログラムやデータの量が大きくなり、Windowsの起動短縮や画像コピー高速化、複数アプリケーションの切替も快適になるなど、効率良く速く処理することができますようになります。

●フラッシュメモリ製品

フラッシュメモリ製品は、手軽にデータを持ち運べる製品です。デザイン性が高いものから、パスワード認証やウイルスチェック機能搭載の高セキュリティモデルまで、幅広いラインアップが揃う「USBメモリ」や、デジタルカメラ・携帯電話で利用する「SDカード」「microSDカード」「コンパクトフラッシュ」などがあります。

ネットワーク製品/ブロードバンド製品

ネットワーク製品の代表的なものには「無線LANルータ」「有線ルータ」「LAN用ハブ」「LANアダプタ」などがあります。ネットワーク製品を用いることで、複数のパソコンでデータを共有したり、インターネットを利用したりできるようになります。特に「無線LAN」はわずらわしい配線が必要ないことと、スマートフォン利用者の拡大により、ホームネットワークでの利用が増えています。また、モバイルWi-Fiルータの使用により、外出先でもタブレット端末などの無線LAN対応機器をインターネットに接続できるなど、ますます無線LANの普及がすすんでいます。



ビジネス用管理者機能搭載無線LAN

無線LANルータ



レイヤー3Gigaインテリジェントスイッチ

ストレージ製品



外付ハードディスク



テレビ用外付ハードディスク



ポータブルハードディスク



ネットワークハードディスク

ストレージ製品は、ソフトウェアやデータを保存する記憶装置です。「外付ハードディスク」「ポータブルハードディスク」「NAS（ネットワークハードディスク）」「外付ブルーレイドライブ」などのほか、衝撃に強く小型で静音に優れた「SSD（シリコンディスク）」があります。

●外付ハードディスク

ストレージ製品の売上高の大部分を占める主力製品です。パソコンのデータやデジタルビデオカメラで撮影した写真/動画の保存などに使用します。最近では地上デジタルテレビで番組をハードディスクに録画する用途が増えており、テレビ録画用のハードディスク需要が高まっています。

●NAS（ネットワークハードディスク）

ネットワークに接続して、大容量のデータを複数のパソコンやデジタル家電で共有できるハードディスクです。ご家庭で気軽に利用できるコンパクトなタイプから、高信頼・高機能のビジネスユースまで、幅広いモデルをラインアップしています。最近では、スマートフォンから外出先で自宅のNASに保存したデータをプライベートクラウドストレージとして扱うなど活用範囲が広がりを見せています。また、パソコン不要で設定できるタイプも登場し利用者の裾野が拡大しています。

デジタルホーム製品

デジタル家電をもっと楽しくする周辺機器。デジタルカメラで撮った写真を、簡単にまとめて保存、しかもデータを自動整理、大画面のテレビで観られる「おもいでばこ」をはじめ、iPhone®/iPad®/iPod touch®で手軽にテレビが視聴できるワンセグチューナー「ちよいテレ」。予約不要で8日分全番組自動録画のTVレコーダーなど、デジタル家電の便利な周辺機器ラインアップが拡大しています。



おもいでばこ

ワンセグチューナー

TVレコーダー



サプライ・アクセサリ製品

「マウス」「キーボード」などの入力機器をはじめ、人気のスマートフォンやタブレット端末用のケースや保護フィルムなどの各種アクセサリをラインアップ。また、「Webカメラ」「ヘッドセット」などのマルチメディア機器から、「USBケーブル」などの各種ケーブルまで、パソコン・各種デジタル家電をより快適に楽しく使える製品群を幅広くお届けしています。



Simpringマウス



スマートフォンケース



どっちもハブ



タブレット端末ケース



DOS/V パーツ

玄人志向
ブランド

グラフィックボード



電源

「玄人志向」のブランド名で高性能スペックを追求したDOS/Vパーツ製品群を先進的なハイエンドユーザ向けに提供しています。ユーザが試行錯誤を繰り返し、パソコン組立てを通じて、充実感や満足感を体感いただける、「パソコンパーツの総合サプライヤー」を目指しています。



サービス

個人向けのパソコン訪問設定サービスをはじめ、法人向けの無線LAN事前電波調査(サイトサーベイ)や設置工事、保守サポート、コールセンター業務代行まで、各種のサービス業務をサポートしています。



インターネット設定サービス(バッファローサービスアライアンス)

GfK certified 2011

4年連続 5部門でNo.1を受賞(2011年度)



HDD部門



4年連続 4回目
バッファロー



DVDドライブ
部門



4年連続 4回目
バッファロー



PC用地デジ
チューナー部門



4年連続 4回目
バッファロー



ネットワーク部門



4年連続 4回目
バッファロー



USBメモリ部門



4年連続 4回目
バッファロー

BCN AWARD2012

15製品がNo.1を受賞(2011年度)



メモリ部門



3年連続 11回目
CFD販売



USBメモリ部門



7年連続 7回目
バッファロー



DVDドライブ
部門



4年連続 4回目
バッファロー



外付HDD部門



4年連続 9回目
バッファロー



内蔵HDD部門



13年連続 13回目
バッファロー



無線LAN部門



10年連続 10回目
バッファロー



ルータ部門



9年連続 10回目
バッファロー



HUB部門



11年連続 12回目
バッファロー



LANカード部門



13年連続 13回目
バッファロー



プリントサーバ
部門



12年連続 12回目
バッファロー



ドライブケース
部門



2年連続 4回目
CFD販売



拡張インター
フェース部門



9年連続 9回目
CFD販売



グラフィック
ボード部門



9年連続 9回目
CFD販売



PC電源部門



初受賞
CFD販売

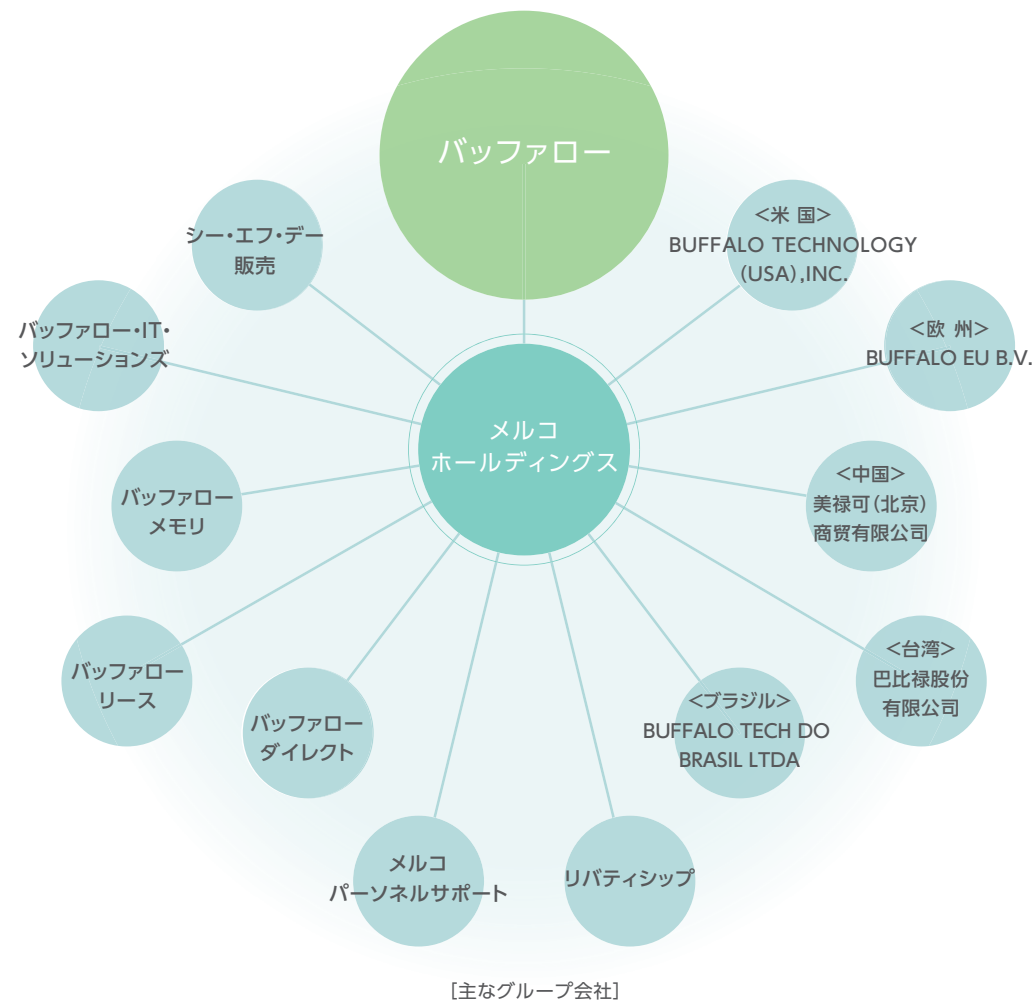


PCカメラ部門



3回目
バッファローコクヨサプライ

メルコグループは、株式会社メルコホールディングスと連結子会社18社により構成されています。
デジタル家電とパソコン周辺機器の総合メーカーとして、機器の開発から販売、設置・設定・保守サービス、アフターサポートまで、全国の法人・個人を対象に、IT・ネットワーク環境構築に必要な機器・サービスを提供しています。



メルコグループ

- 株式会社メルコホールディングス
純粋持株会社。各種事業を営む会社の株式を所有し、事業活動の支援、経営指導を通じ統括管理しています。
〒460-8315 名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル
TEL:052-251-6891(代) FAX:052-249-6609
- 株式会社バッファロー
メルコグループの中核となるブランドメーカー。デジタルホーム市場の成長を促進させる製品を積極的に展開しています。
〒460-8315 名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル
TEL:052-249-6610(代) FAX:052-249-6609
- シー・エフ・デー販売株式会社
「パソコンパーツの総合サプライヤー」をめざしています。
「玄人志向」ブランドを展開。
〒460-8315 名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル
TEL:052-249-6606 FAX:050-5830-8824
- 株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ
個人・法人を対象にパソコン設定・ネットワークインフラ構築・保守などのサービスを提供しています。
〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー
TEL:03-6280-0777 FAX:03-6280-0779
- 株式会社バッファローメモリ
電子部品・電子応用製品の開発・販売をしています。
〒460-8315 名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル
TEL:050-5830-8900 FAX:050-5830-8905
- 株式会社バッファローリース
通信キャリアやビデオ配信サービス業者など、機器を配布するサービスのレンタル代行を行っています。
〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー
TEL:03-3523-3354 FAX:03-3523-3300
- 株式会社バッファローダイレクト
インターネットを活用し、メルコグループ各社の商品を直販しています。
〒460-8315 名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル
TEL:050-5830-8886 FAX:050-5830-8887
- 株式会社メルコ パーソネルサポート
事務職を一括採用して派遣する人材派遣会社です。
主にメルコグループ各社に派遣しています。
〒460-8315 名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル
TEL:050-5830-8866 FAX:050-5830-8867

- 株式会社リバティシップ
ユーザ同士、ユーザと企業を結び、インターネットによるコミュニケーションサービスを提供しています。
〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー
TEL:03-3523-3368 FAX:03-3523-3300

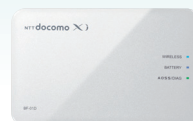
海外関連会社

- <台湾>
- 巴比禄股份有限公司
パソコン周辺機器とブロードバンド関連機器の製造管理・販売
4F, No.18, Lane609, Sec.5, Chung Hsin Rd.,
Sanchung City, Taipei Hsien, TAIWAN
TEL:886-2-2999-9860 FAX:886-2-2999-2264
- <中国>
- 美禄可(北京)商贸有限公司
パソコン周辺機器とブロードバンド関連機器の販売
1155.11th Beijing New Century Hotel, No.6 Southern Road,
Capital Gym, Haidian District, Beijing 100044, China
TEL:86-10-6849-2981 FAX:86-10-6849-2980
- <米国>
- BUFFALO TECHNOLOGY (USA), INC.
パソコン周辺機器とブロードバンド関連機器の製造・販売
11100 Metric Boulevard suite 750 Austin Texas 78758
TEL:1-512-349-1500 FAX:1-512-339-7272
- <欧州>
- BUFFALO EU B.V.
欧州統括会社
Polarisavenue 85, 2132 JH Hoofddorp, The Netherlands
TEL:31-23-554-6010 FAX:31-23-554-6019
- <ブラジル>
- BUFFALO TECH DO BRASIL LTDA
デジタル家電およびパソコン周辺機器の販売
Av.Paulista, 1159, conj.905, Bela Vista, São Paulo, BRASIL
TEL:55-11-3262-0396

※株式会社バッファロー・コクヨサプライは2012年4月1日に株式会社バッファローに統合されました。

外出先でも無線LAN対応機器をインターネットにつなげる高速モバイルWi-Fiルータ

いつでもどこでも手軽に高速インターネット接続ができる、NTTDocomoの超高速通信LTEサービス[Xi]（クロスィ）に対応したモバイルWi-Fiルータを開発しました。持ち運びに便利なコンパクトサイズ、専用クレードルで無線LANルータとしても活用できるなど豊富な機能を搭載。無線LAN環境、モバイル環境の需要を喚起する開発を継続していきます。



モバイルWi-Fiルータ

ホームネットワークの普及を加速させる「AOSS」

バッファローでは無線LANの普及拡大を目指すため、2001年に無線LANの接続やセキュリティ設定を、ボタンを押すだけのワンタッチで行えるシステム「AOSS（AirStation One-Touch Secure System）」を独自に開発しました。AOSSはその設定の簡単さにより、ソニーや任天堂のゲーム機をはじめ、地上デジタルテレビや、ブルーレイディスクレコーダー等のデジタル家電にも採用されています。また、Androidスマートフォン向けアプリ「AOSS for Android」に続き、iPhone®/iPad®向けに「AOSS for iPhone」を開発、AOSSはさらに広がっています。

また、「AOSS」で培った技術をベースに、バッファローが提案活動に取り組んできた「プッシュボタン」方式が、Wi-Fiアライアンス^(※)が策定した無線LAN簡単設定規格「WPS」に採用されています。このことは、バッファローがワイヤレスホームネットワークの発展を牽引するリーディングカンパニーとして世界に認められた証といえます。

※無線LAN 関連製品を製造・販売する企業が集まる業界団体。 ※iPhone®/iPad®はApple Inc.の商標です。



1台で4台分の番組録画できる長時間録画ハードディスクを開発

テレビ録画用外付けハードディスクとしてはじめて^{※1}フルHD対応トランスコーダーLSIを内蔵。デジタル放送の番組を録画時にUSBハードディスク内で圧縮することで、通常より最大で4倍（BSデジタル放送録画時）の長時間録画を実現しました。また、新規開発USBブリッジコントローラーによりトランスコーダーLSIとハードディスクをコントロールすることで、テレビ本体が長時間録画機能をもたない機種^{※2}においても、長時間録画を実現しました。バッファローは外付けハードディスク対応テレビにおける、これからの録画環境を積極的に提案しています。



〈4倍録画対応〉テレビ録画対応外付けハードディスク

※1.2012年1月19日現在 テレビ録画対応外付けハードディスクとして(当社調べ)

※2.2012年3月8日現在 シャープ アクオス V7/K7/H7ラインのみ

スマートフォンをさらに便利にするパーソナルクラウド向けアプリケーション開発

外出先から自宅のネットワークハードディスク（NAS）にアクセスできる「WebAccess」機能を、スマートフォンやタブレット端末で簡単に実現できるアプリケーションを独自開発。アンドロイド用、iPhone®/iPad®/iPod touch®用、Windows Phone用それぞれを開発し、無料配布を行っています。さらにビジネス向けに管理者機能を付加した「WebAccess for Business」も新たに開発。今後も活用シーンを広げていく開発に積極的に取り組んでいきます。

※iPhone®/iPad®/iPod touch®はApple Inc.の商標です。



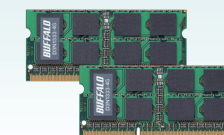
エコ製品への取組み

地球温暖化防止条約以降、エコ製品の積極的な開発がメーカーに期待されています。バッファローでは、テレビやパソコンで使用している際の待機時に電力を大幅にカットできるハードディスク、パソコンの消費電力を抑えることができるマウス、テレビやパソコンの電源をOFFにすると自動的に接続している周辺機器の電源もOFFになるUSBハブ、ケーブルの長さを自動で判断し電力調整するLAN用ハブ製品、インターネットを使わない時間帯に自動で省エネ動作する無線LAN製品など、節電機能を搭載した製品開発に意欲的に取り組んでいます。



メモリの進化を支えるバッファローの技術力

バッファローは電子部品の標準化を推進する組織「JEDEC」に1996年から加盟し、同組織を通じて世界的なメモリモジュール規格の策定に貢献してきました。現在、全世界で使用されているほとんどのノートパソコンに搭載されている世界標準規格に準拠したメモリモジュールには、バッファローの設計が採用されています。今後も次世代の高速メモリモジュール開発に積極的に取り組んでいます。



JEDEC規格準拠メモリ

法人ユーザのニーズに応える製品群

個人情報保護法、会社法、金融商品取引法などにより、保存データのセキュリティ強化は、企業においてますます重要な課題となっています。バッファローでは、情報漏えい防止のために利用するセキュリティUSBメモリの集中管理ソフトウェア〈SecureLock Manager〉や、社内ネットワーク機器の管理、設定の負荷軽減を目的とした、ネットワーク機器の集中管理・設定ソフトウェア「BN-ADT」など、法人ユーザのニーズに応えるさまざまな製品を販売しています。



セキュリティUSBメモリ



ネットワーク集中管理ソフト

デジタル写真活用の新たなニーズを創造する「おもいでばこ」

デジタルカメラで撮った写真や動画をパソコンを使わずに簡単に保存して自動で整理、大画面テレビで家族みんなで楽しめる。そんなデジタルカメラの活用をより快適にする製品として開発。バックアップも簡単にとれるので大切な家族の思い出を安心して保存できます。「写真を家族で楽しむ」というデジタルライフの新スタイルを提案しています。



おもいでばこ

テレビの視聴スタイルを変える「まるっと全録」機能搭載のTVレコーダー

テレビ番組を予約することなく、好きな番組が好きな時間に観られる、TVレコーダー「ゼン録」を発売。過去8日分のすべての番組を自動で録画し、「録画予約のし忘れ」、「あとから番組を知った」、「テレビをつけたらまた面白い番組がやっていた」などの番組の見逃しがありません。デジタルホームの中心的存在であるテレビにおいても、新しい視聴スタイルを提案しています。



ゼン録

総務省が無償給付する「簡易な地デジチューナー」の納入メーカーに3年連続選定

2011年7月に実施された地上デジタル放送への移行に向けて、総務省が補助対象事業で無償給付した「簡易な地デジチューナー」の納入メーカーに、バッファローが2009年/2010年/2011年と3年連続選定されました。

総務省無償給付対象
地デジチューナー

無線USB機器を1つのレシーバーで効率的に使える「Simpring」シリーズ

ワイヤレスで接続できるマウスやキーボード、でも受信機は機器の数だけ必要になりすぐにUSBポートが一杯になってしまいます。そんな問題を解決するテクノロジーが「Simpring(シンプリング)」です。1つの受信機で最大5台までの無線USB機器が接続できます。しかも、ソフトウェアをインストールすることなく設定も簡単に行えます。ますます増える便利な無線USB機器を効率良く活用する新技術として注目されています。



SRMB01



SRMB02



SRMB03



SRKB01BK



SRKB02WH

世界初^(※)USBコネクターの向きを気にせず挿せる"どっちもハブ"

USBコネクターが上下どちらの向きでも挿せるUSBハブ“どっちもハブ”を製品化しました。ハブのポートにUSBケーブルを挿す際、コネクターの向きが逆で挿し直すといった手間が不要になりました。ユーザーニーズを反映した高付加価値製品の企画、発売に努めています。

※2012年2月当社調べ。



どっちもハブ

グッドデザイン賞を多数の製品で受賞

パソコン周辺機器からデジタル家電周辺機器への拡がりとともに、テレビの横に置かれたり、持ち歩いて使ったりと、製品のデザイン性についてもより多様なニーズが求められます。使いたくなるデザイン、使いやすいデザイン、より洗練された製品へ。そのひとつの証としてグッドデザイン賞への挑戦を続けており、7年連続で賞を受賞しています。



HD-PCTU3

タイのバンコクに初のコンセプトショップ「バッファロースタ」を展開

タイ国におけるブランド認知向上の拠点となるコンセプトショップ「バッファロースタ」を、バンコク市内の高級ショッピングモールCentralWorld内に開設いたしました。

バンコクはパソコン及びインターネット回線の普及率も上昇しており、デジタル家電周辺機器の需要増も見込まれ、大きな期待を寄せている商圈です。さらにタイを皮切りに、順次世界各国で「バッファロースタ」を展開し、ブランド認知向上に取り組んでいく予定です。



南米・ブラジルに販売会社を設立

メルコグループでは中南米への海外進出を加速させるために、ブラジル・サンパウロ市に2012年3月「BUFFALO TECH DO BRASIL LTDA」を設立いたしました。急成長中の新興国での販路拡大にも積極的に取り組みます。



公衆無線LANスポットサービス「FREESPOT」で外国人観光客向けの英語ページを開設

訪日外国人観光客数は年々増加傾向にあり、スマートフォンやタブレット端末などの無線LAN端末が普及するにつれ、無料の無線LANスポットサービスに対するニーズも非常に高いものになってきました。店舗オーナー様からも、外国語対応を求める声があり、FREESPOT協議会ではこうした声に応え、所在地MAPなどの情報を英語化して提供いたしました。

※全国のFREESPOT拠点数は現在9,400箇所を超えてさらに拡大を続けています。(2012年3月27日現在)

社会貢献活動

●一般社団法人デジタルライフ推進協会(DLPA)

(株)アイ・オー・データ機器、(株)デジオン、(株)メルコホールディングスのPC周辺機器関連3社にて、2010年2月にデジタルライフの健全な発展を目指し設立された「一般社団法人デジタルライフ推進協会」(DLPA)は、デジタルライフをより手軽に楽しめる環境づくりとして、「デジタル機器における、ユーザーの利便性と今後のあるべき姿」と題した意見広告や録画番組お役立ち情報の提供、録画データ救済サービスの企画提案など、さらなる環境整備に取り組んでいます。

▶ <http://dlpa.jp/>



●東日本大震災ネットワーク復旧構築支援

2011年度の無線LANアクセスポイント1,000台の無償提供に続き、2012年度は被災自治体の庁舎内ネットワーク復旧構築支援を実施。「バッファロー・ネットワーク支援隊」として、9自治体・8避難所のネットワーク復旧構築支援を行いました。合わせて「フリースポット」機材の無償提供も実施いたしました。

メルコグループは、今後も積極的に被災地支援に取り組んで参ります。

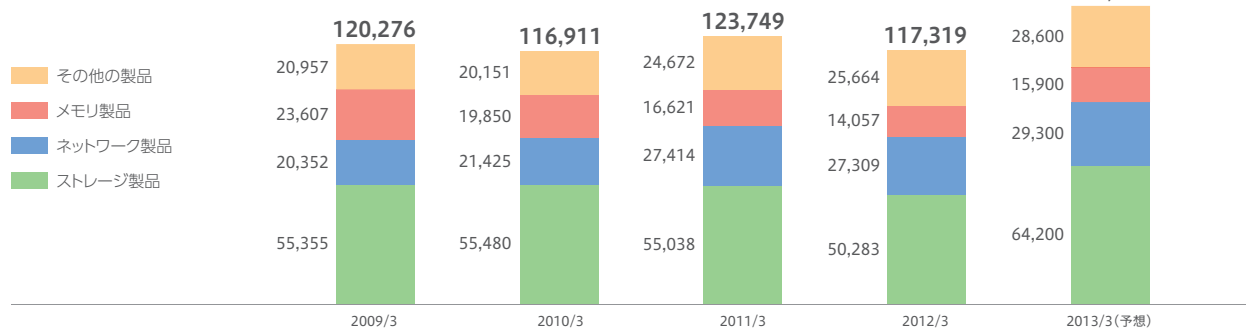
●公益財団法人メルコ学術振興財団

メルコグループは創業30周年を記念する社会貢献事業として「財団法人メルコ学術振興財団」を2007年に設立し、2011年4月1日に公益財団法人に移行いたしました。日本の管理会計実務に関する研究への助成などを通じて、管理会計学の発展と普及、さらにはわが国の学術・文化の発展に寄与することを目的として活動しています。2011年度は、設立5周年を記念する事業として国際シンポジウムを名古屋大学野依記念学術交流館で開催。あわせて339名の研究者に助成を実施いたしました。管理会計の重要性が広く認知され、その成果が広く社会に還元されることを期待しています。



■連結売上高

(単位:百万円)



ストレージ製品

ストレージ製品では、地デジ化移行に伴う録画需要拡大の一方、タイ国洪水の影響による製品価格の値上げに起因する需要の減退により、主力の外付ハードディスクの販売台数が減少しました。その結果、販売台数は前年同期比で9.6%減少し、売上高は前年同期比12.5%減の370億38百万円となりました。

NAS(ネットワークハードディスク)製品では、iPad®やスマートフォン等から自宅のNASにアクセスする、プライベートクラウドストレージとしての活用提案を行いました。また、ユーザ層の拡大を狙ってより簡単に設定できる製品を投入しました。これらにより、販売台数は前年同期比で3.5%増加し、売上高は前年同期比で4.1%増の132億45百万円となりました。

メモリ製品

メモリ製品では、パソコンのメモリ初期搭載容量の大容量化によるメモリモジュールの追加購入需要の低迷により、販売台数は前年同期比で16.3%減少し、売上高は46億8百万円と前年同期比47.8%下回る結果となりました。

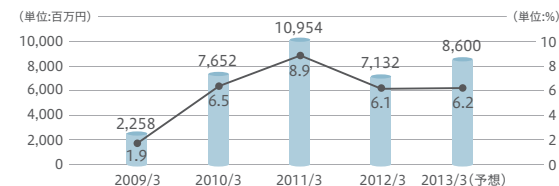
フラッシュメモリ製品では、SD等メモ리카ード、次世代規格USB3.0対応USBフラッシュの拡販に努めた結果、販売台数は前年同期比で25.8%増加し、売上高は前年同期比21.4%増の94億49百万円となりました。

※iPadはApple Inc.の商標です。

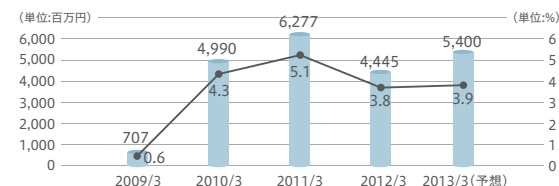
ネットワーク製品

ネットワーク製品では、スマートフォンでの無線LANの利用提案を進め、専門知識がないユーザでも簡単に設定できる製品を発売する等、市場拡大に努めました。これらにより、販売台数は前年同期比で22.7%増加しましたが、単価下落により、売上高は前年同期比0.4%減の273億9百万円となりました。

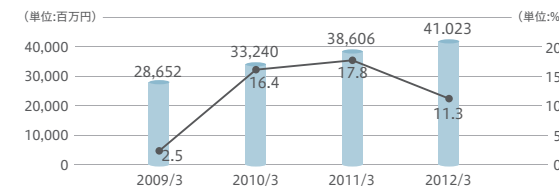
■連結経常利益と連結売上高経常利益率



■連結当期純利益と連結売上高当期純利益率



■連結株主資本と連結株主資本当期純利益率



【見通しに関するご注意】

上記の業績予測は現時点で得られる情報に基づいて算定されたものであり、多分に不確実な要素を含んでいます。従って、実際の業績は業況の変化により業績予測と異なる場合があります。

デジタルホーム製品

デジタルホーム製品では、アナログ放送終了後TV用地上デジタルチューナーの需要が大幅に縮小したことにより、販売台数は前年同期比8.4%減少しました。一方、売上高については高付加価値製品である地デジレコーダーの伸長により、売上構成比率が改善され前年同期比10.5%増の72億26百万円となりました。

サプライ・アクセサリ製品

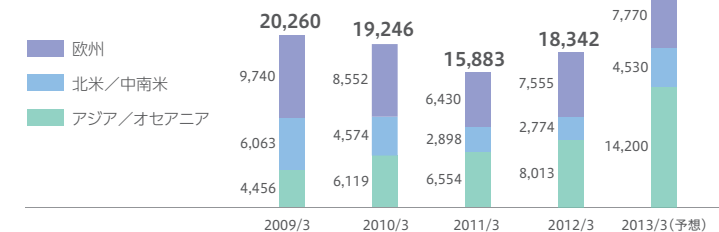
サプライ・アクセサリ製品では、スマートフォンの全キャリア全機種に対応したコンパクトサイズのモバイル充電器やコネクタの向きを気にせず挿せる"どっちもハブ"等ユーザニーズを反映した高付加価値製品の企画・発売に努めました。また、液晶保護フィルム・保護ケース等、スマートフォン関連製品のラインアップを拡充しました。これらにより、販売台数は前年同期比17.8%増加し、売上高は前年同期比9.6%増の111億32百万円となりました。

海外の売上

海外販売については、拠点の拡充とともに拡販に注力した結果、アジア・オセアニア地域での売上拡大が牽引し、海外売上は前年同期比で15.5%伸長しました。また、今後大きく成長が見込まれるアジア各国においてバッファローショップを展開、さらにバンコクにバッファローストアをオープンする等、ブランド力強化にも注力し、メルコグループの最重要課題である海外展開戦略の強化拡充に努めました。

■海外売上推移

(単位:百万円)



■連結貸借対照表

(単位:百万円)

区 分	当 期 平成24年3月31日現在	前 期 平成23年3月31日現在
資産の部		
流動資産	64,967	65,616
固定資産	5,360	5,984
有形固定資産	872	956
無形固定資産	1,492	2,223
投資その他の資産	2,995	2,805
資産合計	70,328	71,601
負債の部		
流動負債	26,402	29,586
固定負債	2,902	3,407
負債合計	29,304	32,994
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	774	774
利益剰余金	39,548	36,435
自己株式	△60	△59
株主資本合計	41,262	38,150
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	112	95
繰延ヘッジ損益	2	5
為替換算調整勘定	△354	△314
その他の包括利益累計額合計	△239	△213
新株予約権	—	—
少数株主持分	—	670
純資産合計	41,023	38,606
負債・純資産合計	70,328	71,601

■連結損益計算書

(単位:百万円)

区 分	当 期 自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日	前 期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高	117,319	123,749
売上原価	93,060	96,518
販売費及び一般管理費	17,704	16,487
営業利益	6,553	10,743
営業外収益	673	262
営業外費用	94	51
経常利益	7,132	10,954
特別利益	16	240
特別損失	157	476
税金等調整前当期純利益	6,991	10,718
法人税、住民税及び事業税	2,496	4,049
法人税等調整額	22	340
少数株主利益及び少数株主損失(△)	26	50
当期純利益	4,445	6,277

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区 分	当 期 自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日	前 期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	640	10,719
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,146	△10,340
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,400	△889
現金及び現金同等物に係わる換算差額	△56	△50
現金及び現金同等物の増減額(減少は△)	△2,962	△562
現金及び現金同等物の期首残高	11,415	11,977
現金及び現金同等物の期末残高	8,452	11,415

■連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度 自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日												(単位:百万円)
区 分	株主資本					その他の包括利益累計額				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計			
前期末残高	1,000	774	36,435	△59	38,150	95	5	△314	△213	—	670	38,606
当期変動額												
剰余金の配当			△1,332		△1,332							△1,332
当期純利益			4,445		4,445							4,445
自己株式の取得				△0	△0							△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						17	△3	△40	△25	—	△670	△695
当期変動額合計	—	—	3,113	△0	3,112	17	△3	△40	△25	—	△670	2,416
当期末残高	1,000	774	39,548	△60	41,262	112	2	△354	△239	—	—	41,023

前連結会計年度												自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日		(単位:百万円)	
区 分	株主資本					その他の包括利益累計額				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計			
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計						
前期末残高	1,000	774	31,045	△58	32,762	127	2	△276	△145	4	619	33,240			
当期変動額															
剰余金の配当			△888		△888							△888			
当期純利益			6,277		6,277							6,277			
自己株式の取得				△1	△1							△1			
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△32	2	△37	△67	△4	50	△21			
当期変動額合計	－	－	5,389	△1	5,387	△32	2	△37	△67	△4	50	5,366			
当期末残高	1,000	774	36,435	△59	38,150	95	5	△314	△213	－	670	38,606			

■社名の由来

「メルコ」は「牧技術研究所」を意味しています

「MELCO」のMは創業者でメルコホールディングスの代表取締役社長である牧誠の姓、Eは技術力の「Engineering」、Lは研究所の「Laboratory」、COは会社の「Company」の頭文字をとり、創業の1975年以来、社名として使用しています。

「バッファロー」はパソコン周辺機器の「プリンタバッファ」に由来しています

メルコが1982年に発売した内蔵型プリンタバッファは、印刷中でもパソコンが使える周辺機器として大ヒット製品となり、当社躍進の基盤となりました。その後、当社製品のブランド名を一般公募し、採用されたのが「BUFFALO」です。プリンタバッファを動物の“バッファロー”に重ね合わせ、たくましく成長する当社のイメージを表現するブランド名として採用されました。

■メルコグループのあゆみ

1975年 5月	音響機器製品の製造・販売を目的としてメルコを創業	10月	(株)メルコが(株)バッファローに商号変更、
1978年 8月	メルコを株式会社とし、 (株)メルコ(現(株)バッファロー)を設立		名古屋市南区に本店を移転
1981年 7月	パソコン周辺機器市場へ本格参入	10月	(株)メルコホールディングスと(株)バッファローが株式を交換、 持株会社体制に移行
1982年 11月	プリンタ内蔵型のプリンタバッファを発売	10月	(株)メルコホールディングスが東京証券取引所市場第一部、 名古屋証券取引所市場第一部に株式を上場
1986年 7月	名古屋市天白区に (有)バッファロー(現(株)メルコホールディングス)を設立	2004年 1月	デジタルホームソリューションズ事業部を新設
1988年 10月	わが国初のEMSボード(メモリ)を発売	2005年 3月	NTT東西の「オンデマンドTV」に 専用セットトップボックスの供給を開始
1991年 10月	(株)メルコ(現(株)バッファロー)が 日本証券業協会へ店頭登録	7月	(株)バッファローが名古屋市南区に 「テクニカルサービスセンター」を開設
1992年 1月	名古屋市南区に技術開発拠点 「ハイテクセンター」(現(株)バッファロー本社)を開設	2007年 4月	(株)メルコホールディングスが(株)アーベルを子会社化
	8月 LANを発売	5月	(株)エム・ティー・エスが (株)バッファロー・IT・ソリューションズに商号変更
1994年 2月	ハードディスクを発売 パソコン周辺機器の総合メーカへ	8月	(株)アーベルが(株)バッファロー・コクヨサプライに商号変更
1995年 1月	(株)メルコが名古屋証券取引所市場第二部に株式を上場	2008年 4月	バッファローEU B.V. を設立
	8月 (株)メルコが東京証券取引所市場第二部に株式を上場	2009年 3月	(株)メルコホールディングス本社事務所を 名古屋市南区に移転
	9月 (株)メルコが品質保証の国際規格ISO9001の認証を取得		
1996年 9月	(株)メルコが東京証券取引所市場第一部、 名古屋証券取引所市場第一部に株式を上場	2010年 9月	(株)メルコホールディングス本社を名古屋市中区大須へ移転
1999年 1月	無線LAN市場に参入、「AIRCONNECT」を発売	2010年 11月	美禄可(北京)商贸有限公司を設立
2000年 10月	DDR対応ノートパソコン用メモリの世界標準規格を開発	2011年 10月	(株)メルコホールディングスが (株)ジェイ・ディ・エス(現(株)バッファローメモリ)を子会社化
2001年 1月	(株)メルコが環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得	2012年 3月	ブラジルにBUFFALO TECH DO BRASIL LTDAを設立
2003年 5月	(株)バッファローが(株)メルコホールディングスに商号変更、 名古屋市中区に本店を移転	4月	(株)バッファローが(株)バッファロー・コクヨサプライを統合

■株式会社メルコホールディングス

商 号	株式会社メルコホールディングス (英文社名)MELCO HOLDINGS INC.	役 員	(2012年6月15日現在)
設 立	1986年(昭和61年)7月1日	代表取締役社長	牧 誠
資 本 金	10億円	専務取締役	斉木 邦明
事業内容	メルコグループの純粋持株会社 傘下事業会社の株式を所有し、事業活動支援、経営指導を通じて統括管理を行う	取 締 役	山口 英利
		取 締 役	松尾 民男
		取 締 役	津坂 巖
		取 締 役	牧 寛之
従業員数	88名、メルコグループ連結875名	常勤監査役	豊岡 誠史
グループ企業	会社数18社(国内11社、海外7社)	監 査 役	上總 康行
		監 査 役	額額 満

■株式会社バッファロー

商 号	株式会社バッファロー (英文社名)BUFFALO INC.	役 員	(2012年6月15日現在)
創 業	1975年(昭和50年)5月1日	取締役会長	牧 誠
設 立	1978年(昭和53年)8月5日	代表取締役社長	斉木 邦明
資 本 金	3億2千万円	専務取締役	山口 英利
事業内容	デジタル家電及びコンピュータ周辺機器の開発、製造、販売	取 締 役	松尾 民男
従業員数	438名	取 締 役	続木 政直
		取 締 役	石徹白 敬
		取 締 役	渡邊 泰治
		取 締 役	大嶋 健康
		取 締 役	萩原 信男
		監 査 役	金子 信正
		監 査 役	豊岡 誠史

事 業 所	本 社	〒460-8315	名古屋市中区大須3-30-20	赤門通ビル	TEL.052-249-6610	FAX.052-249-6609
	東 京 支 店	〒104-0033	東京都中央区新川1-21-2	茅場町タワー	TEL.03-3523-3333	FAX.03-3523-3300
	大 阪 支 店	〒532-0003	大阪市淀川区宮原4-1-14	住友生命新大阪北ビル3階	TEL.050-5533-1250	FAX.06-6398-5755
	名古屋営業所	〒460-8315	名古屋市中区大須3-30-20	赤門通ビル	TEL.052-249-6600	FAX.052-249-6601
	仙 台 営 業 所	〒983-0852	仙台市宮城野区榴岡4-5-22	宮城野センタービル	TEL.022-291-0311	FAX.022-298-9470
	福 岡 営 業 所	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前4-9-2	YAOJIセンタービル	TEL.092-477-3711	FAX.092-477-3755
	札 幌 営 業 所	〒060-0031	札幌市中央区北一条東1-4-1	サン経成ビル	TEL.011-200-8150	FAX.011-200-8151
	広 島 営 業 所	〒730-0015	広島市中区橋本町10-10	広島インテス3階	TEL.050-5830-8888	FAX.050-5830-8889

■メルコホールディングス株式情報

決 算 日	3月31日
定 時 株 主 総 会	6月
株主確定基準日	議決権行使株主 3月31日
	期末配当金受領株主 3月31日
	中間配当金受領株主 9月30日
上場証券取引所	東証・名証一部
証 券 コ ー ド	6676
発 行 済 株 式 数	22,237,873株(自己株式控除後 22,214,196株)(2012年3月31日現在)
株 主 数	9,066名(2012年3月31日現在)
1単元の株式数	100株
公 告 の 方 法	電子公告 http://melco-hd.jp/koukoku/
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
同 取 次 所	三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店 ◎電話照会先 TEL.0120-782-031(フリーダイヤル) 土・日・祝日を除く9:00～17:00
幹 事 証 券 会 社	(主)大和証券 (副)野村證券、みずほインベスターズ証券、SMBC日興証券

株式会社 **メルコホールディングス** (証券コード6676) <http://melco-hd.jp/>

本 社 〒460-8315 名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル TEL.052-251-6891(代) FAX.052-249-6609

株式会社 **バッファロー** <http://buffalo.jp/>

本 社 〒460-8315 名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル TEL.052-249-6610(代) FAX.052-249-6609
東京支店 〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー TEL.03-3523-3333(代) FAX.03-3523-3300